

☀️☁️☀️ 余市町でおこったこんな話 ☁️☔️☁️

余市町でおこったこんな話 その143

余市町の埋もれた歴史等を紹介し、改めて余市町を再認識するコーナーです。

円山公園と西中

沢町の円山公園（一部富沢町にまたがる）は明治時代から「郭公の丘」と呼ばれていた。『余市町郷土誌』によると、昭和のはじめには、「山より俯瞰すれば澤町、山碓（現在の港町）等の市街脚下に展開し、中略、又園内には桜樹、楓樹茂り中腹に稲荷の神社ありて実に風光絶佳、殊に丘陵上は大グラウンドをなし種々運動競技の大会行はる。」とあります。

円山公園の南側の山は三角山と呼ばれ、頂上にある忠魂碑は町内で最も大きな石碑です。公園内には大正4（1915）年建立の「圓山公園の碑」もあり、碑文には円山公園開設の寄付を寄せられた人たちの名前が刻まれているので、この頃に円山公園ができたと思われ（『余市町の石碑』）。

昭和14（1939）年、円山公園のグラウンドで沢町尋常高等小学校の運動会が行われました。二シシ漁の季節が終わった6月、じめに盛大に行われた運動会は町中の人びとが集まったかのような賑わいで、円山公園を目標とした児童の家族の列が「坂道を切れることなく」登ってゆきました（『ひびけ』第19号）。これは沢町小の校庭が手狭で運動会が出来ない年が何年かあったからでした。同書によると、学校の校庭に集合した児童たちは、ブラスバンドの演奏にあわせて円山目指して出発しました。行進は海に向かい、西農協前を通過後、左折して公園の坂の下まで進みま

した。沿道には家族たちが並び、お祭りよりの人出だったそうです。

その頃は戦争の色濃い時期で、子どもたちは兵士が背負う「背のう」に似せたものを背負い、木製の銃を持って行進しました。背のうや木の銃は家族が作ったものでした。

円山公園の海側中腹には朱塗りの小さな祠があり降ることが多く、そうだったのは何代か前の沢町小の校長先生が白蛇を殺してしまつたからで、その「たたり」を除くため祠が建てられたという噂がささやかれたそうです。

西中学校の創立は同22年5月のことです。校舎はまだ完成しておらず、沢町小学校や余市中学校（現余市紅志高校）に教室を間借りしてのスタートでした。東側校舎の落成は同年10月、次いで北側校舎が完成したのは3年後の同27年で、この年にやっと全校生徒が同じ校舎で学ぶことが出来るようになりました（『希望が丘』創立30周年記念誌）。

校舎は現在の「ふれあい交流施設」あたりにありましたが、校舎に向かう坂道の登り口から最初のカーブは今よりも急カーブで、道の長さも今よりも短く急坂でした。冬になると給食を運ぶ自動車も坂道を登られなくなるため、給食の入った容器や牛乳ケースを運ぶ担当者が決められました。最後のカーブの手前には近道があつてそこを登る生徒もいました。



写真：10周年記念運動会 昭和32年（『翔 西中開校50周年記念誌』）

第66回「社会を明るくする運動」余市町住民集会・ミニ集会のご案内

今年も本運動が7月1日（金）～7月31日（日）の1か月間、全国で一斉に行われます。

青少年の健全育成を願って、本町の関係団体の皆様が集会に参加します。集会では、小・中・高生の標語・作文の発表と表彰が行われます。

本町が、犯罪や非行のない明るい社会になるようお願いを込めて、たくさんの方々の参加をお待ちしています。

また、地域ごとの「ミニ集会」も例年どおり開催されますので、お誘い合わせのうえご参加ください。

◆日時・会場

◎余市町住民集会 7月15日（金）午後3時30分 中央公民館

◎地区別のミニ集会

黒川地区・大川地区・沢町地区の3か所で7月中に開催されます。日程については後日、区会を通して連絡する予定です。

◆問合せ 青少年対策室 ☎23-5745

悩みごととは早めにご相談を！ ●青少年の相談 ☎23-5745
●こどもの悩み相談 ☎23-7722

が、滑って転んで給食の汁物を台無しにした。自動車が登れなくなると、また先生が運転する。部座席に乗せられ、登り口で生徒を後座席に乗せ、通勤する先生は生徒に後ろを踏ませました。後輪が巻き上げる雪で服がビツチャビツチャになりました。懐かしさ卒業生もいます。